

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「UBSブラジル・インデックス・ファンド」は、このたび第11期の決算を行いました。

当ファンドは主としてブラジルを代表する企業の株式に実質的に投資を行い、ボベスパ指数（円換算ベース）に概ね連動した投資成果を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

第11期末（2019年7月10日）

基準価額	5,715円
純資産総額	988百万円
騰落率*	35.6%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBS
ブラジル・インデックス・
ファンド

追加型投信／海外／株式／インデックス型

第11期（決算日2019年7月10日）
作成対象期間（2018年7月11日～2019年7月10日）

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア
イーストタワー

＜お問い合わせ先＞ 投信営業部 03-5293-3700
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く）

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

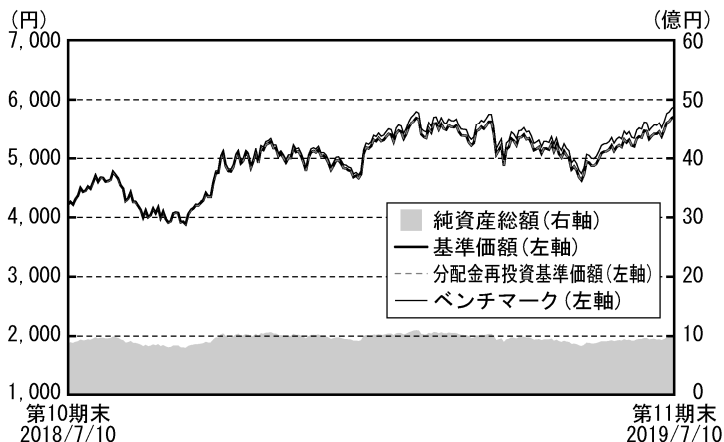
上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

運用経過

基準価額等の推移について

<基準価額等の推移（2018年7月10日～2019年7月10日）>



第11期首：4,215円
 第11期末：5,715円 (既払分配金 0円)
 騰落率：35.6% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

■基準価額は期首比で1,500円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率は+35.6%となりました。

<ベンチマークについて>

ベンチマークとは、ファンドの運用を行うに当たり、運用目標の基準あるいはパフォーマンスを評価するための基準です。なお、当ファンドのベンチマークは「ボベスパ指数」を委託会社において円換算した「ボベスパ指数（円換算ベース）」です。

※「ボベスパ指数（IBOVESPA）」とは、サンパウロ証券取引所（以下「ボベスパ」といいます。）が所有する商標であり、当ファンドにおいて当該指数を利用するにあたり、UBSアセット・マネジメント株式会社にその利用許諾が与えられています。ボベスパは、当ファンドの発行、後援、推薦、販売、もしくは販売活動を行うものではなく、またその運用につき一切の保証・責任を負うものではありません。また、ボベスパは、ボベスパ指数の運営管理上必要と認めるときは、当該指数の内容を変更する権利を有します。

基準価額の主な変動要因

- 当ファンドの基準価額の上昇要因は、組入れているマザーファンド受益証券の基準価額が値上がりしたことです。当期のマザーファンドの基準価額は、組入株式にかかる価格変動におけるプラス（上昇）要因が、その他のマイナス（下落）要因を上回ったことにより値上がりしました。主なプラス要因は、ブラジルのボルソナロ政権が掲げる年金改革の進展に対する期待感や、主要先進国の金融緩和的な動きなどを背景にブラジル株式が上昇したことです。

1万口当たりの費用明細

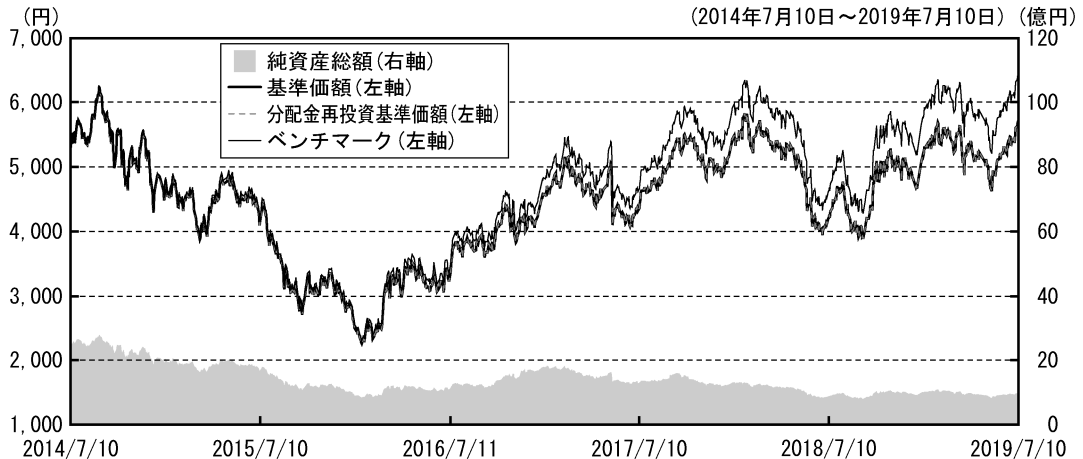
項目	当期 2018/7/11～2019/7/10		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	79円	1.588%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は5,005円です。
（投信会社）	（38）	（0.756）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（38）	（0.756）	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（4）	（0.076）	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
売買委託手数料	1	0.020	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	（1）	（0.018）	株式などを取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	（0）	（0.002）	先物・オプション取引所取引の際に売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	1	0.011	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	（1）	（0.011）	有価証券売買の都度発生する取引に関する税金
その他費用	39	0.777	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	（35）	（0.704）	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	（1）	（0.020）	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	（2）	（0.049）	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	（0）	（0.004）	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	120	2.396	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2014年7月10日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注4) 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

	2014年7月10日 期初	2015年7月10日 決算日	2016年7月11日 決算日	2017年7月10日 決算日	2018年7月10日 決算日	2019年7月10日 決算日
基準価額 (円)	5,300	4,143	3,361	4,365	4,215	5,715
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 21.8	△ 18.9	29.9	△ 3.4	35.6
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△ 20.6	△ 17.0	33.5	△ 0.8	39.5
純資産総額 (百万円)	2,477	1,671	1,130	1,293	881	988

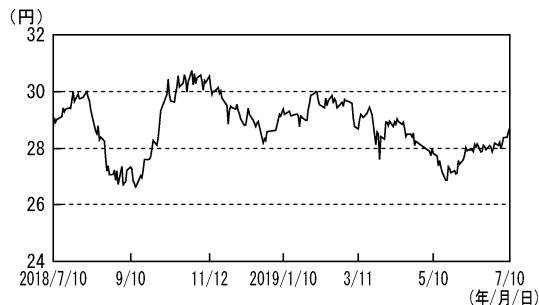
- (注) 「分配金再投資基準価額騰落率」、「ベンチマーク騰落率」および「期間分配金合計 (税込み)」は、表中の直前の決算日または期初からの騰落率および分配金合計 (税込み) です。

投資環境について

■ ブラジル株式市場

当期のブラジル株式市場は大幅に上昇しました。期の前半、ブラジルにおける国営企業の民営化や、財政再建に向けた構造改革を主な政策に掲げたボルソナロ新大統領の誕生への期待感などから、ブラジル株式市場は概ね上昇基調で推移しました。2019年に入り、主要先進国の金融政策において急速な緩和姿勢の動きや、中国では景気刺激策の強化なども株式市場の押し上げ材料となりました。期の後半、ブラジル政府と議会の不協和音や、年金改革の進展に対する懐疑的な見方が市場で広がったこと、世界的な景気減速懸念などを背景に、ブラジル株式市場は一時的に上値の重い局面もみられました。しかし期末にかけて、米国の早期利下げ観測やブラジル下院議会における年金改革法案の審議の進展などが市場で好感され、再び上昇基調を強めて期末を迎えました。

■ ブラジルリアル／円レートの推移



当期のブラジルリアル／円相場は、前期末比でほぼ横ばいとなりました。期の序盤、米国長期金利の急上昇を受けて新興国から資金が流出するとの警戒感や、貿易摩擦問題の長期化懸念などを背景に売り圧力がかかり、ブラジルリアルは急落しました。しかしその後、2018年秋に実施されたブラジル大統領選挙において、財政再建に前向きとされるボルソナロ候補の優勢報道などを材料に、リアルは急反発に転じました。期の後半は、ブラジル経済の減速懸念や、ボルソナロ政権と議会のあつれきをめぐる報道などを背景に、同国の年金

改革に対する不透明感や、米中貿易摩擦の激化報道などが嫌気され、リアルは円に対し下落基調で推移しました。期末にかけて、ブラジル下院議会が年金改革法案の審議において、大幅な進捗がみられたことなどが市場で好感され、ブラジルリアルは対円で上昇した結果、それまでの下落幅を取り戻して期末を迎えました。

ポートフォリオについて

<当ファンドのポートフォリオについて>

■当ファンドは、主要投資対象である「UBS ブラジル・インデックス・マザーファンド」受益証券を高位に組入れ、ベンチマークに連動した投資成果を目指して運用を行いました。

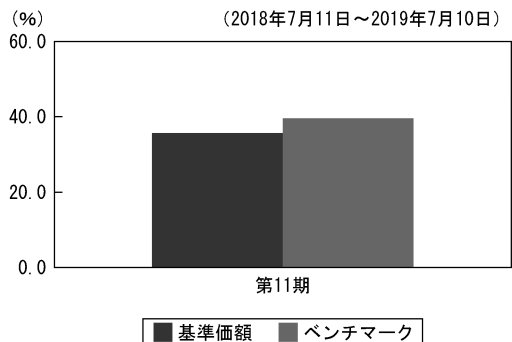
＜マザーファンドのポートフォリオについて＞

■当ファンドは、ベンチマークであるボベスパ指数を構成する株式中心に投資を行い、当該指数に概ね連動する投資成果を目指して運用を行いました。

完全法を目標とする現物株式中心のポートフォリオを構築するとともに、効率的にベンチマークに連動するため、株式先物への投資も一部行いました。当期も、ベンチマークの変更（銘柄入れ替え、比率変更など）、および資金の流出入に対応して適宜売買を行い、ベンチマークとの連動性を維持するための調整を実施しました。

ベンチマークとの差異について

＜基準価額とベンチマークの対比（騰落率）＞



(注) 基準価額の騰落率は分配金再投資ベース

■当期中の騰落率は、基準価額（分配金再投資ベース）の+35.6%に対してベンチマークが+39.5%となり、基準価額（分配金再投資ベース）の騰落率はベンチマークの騰落率を4.0%下回りました。基準価額（分配金再投資ベース）の騰落率がベンチマークの騰落率を下回った主な要因は、当ファンドにおける信託報酬の負担やマザーファンドにおける取引コストの負担などです。

分配金について

■収益分配金につきましては、基準価額の水準や市況動向等を勘案し、当期は分配を行わないこととしました。分配にあてなかった利益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(1万口当たり・税引前)

項目	第11期
	2018年7月11日～2019年7月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	1,312円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<投資環境の見通し>

■ブラジルの年金改革法案において、今後の審議は概ね円滑かつ、大幅な修正も無く進展するものと思われ、近々下院本会議にて第2回目の採択で可決後、上院の審議を経て順調に進んだ場合、2019年9月から10月にかけて成立する可能性があります。一方、政府と議会は国内消費や景気の刺激策として、年金改革法案成立後の次なる改革へ既に着手しており、大規模な税制改革、国営企業の民営化や資産売却、自由貿易協定、および規制緩和などに取り組んでいます。

ブラジル中央銀行（BCB）は金融政策において、米連邦準備制度理事会（FRB）による0.25%の利下げや、下院で年金改革法案の審議に大きな進展がみられたことなどを背景に、利下げ余地が生じたことから、7月31日の会合で政策金利を0.5%引き下げ、6%とすることを決定しました。BCBは今後の経済指標の内容次第ではあるものの、経済やインフレ水準の動向によっては、更なる利下げに踏み切る可能性も想定されます。

ブラジルレアルは、依然として魅力的な水準にあると考えます。

<当ファンドの今後の運用方針>

■こうした環境下、当ファンドでは、引き続きマザーファンド受益証券を高位に組入れ、ボベスパ指数に概ね連動する投資成果を目指した運用を行います。

<マザーファンドの今後の運用方針>

■当ファンドでは、引き続きボベスパ指数を構成する株式を中心に投資を行い、同指数に概ね連動する投資成果を目指した運用を行います。

お知らせ

■約款変更のお知らせ

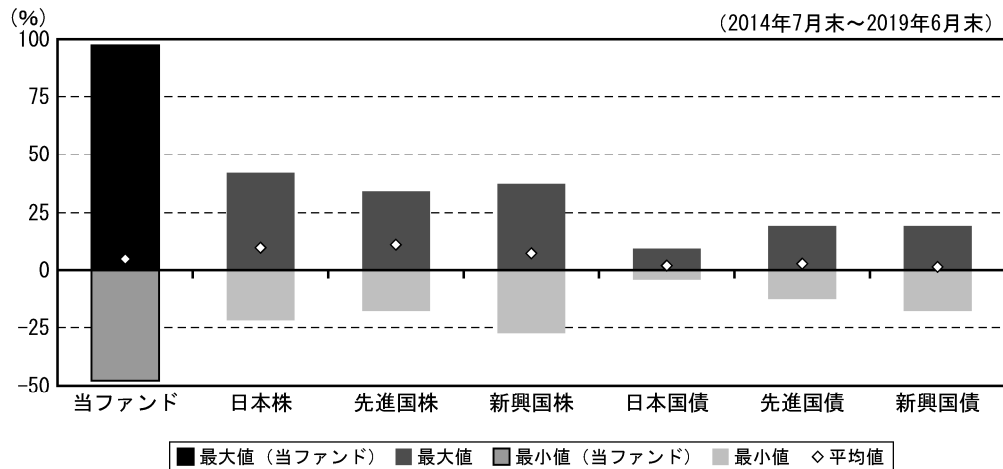
信用リスク集中回避のための投資制限等について一部修正を行いました。（約款変更実施日：2018年10月11日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、ブラジルを代表する企業の株式を中心に投資を行い、ボベスパ指数に概ね連動した投資成果を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド 〈UBS ブラジル・インデックス・ファンド〉	UBS ブラジル・インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド 〈UBS ブラジル・インデックス・マザーファンド〉	ブラジル株式市場の動向を表す代表的株価指数であるボベスパ指数を構成する株式を中心に投資を行います。
運用方法	ベビーファンド 〈UBS ブラジル・インデックス・ファンド〉	マザーファンド受益証券の組入れについては高位を維持することを基本とします。 実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	マザーファンド 〈UBS ブラジル・インデックス・マザーファンド〉	投資成果を、ベンチマークであるボベスパ指数（円換算ベース）に概ね連動させるように運用を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 UBS アセット・マネジメント（UK）リミテッドに、運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（原則毎年7月10日、休業日の場合には翌営業日）に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の中から、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わない場合があります。分配にあてなかった利益の運用については特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

※資金動向、信託財産の規模および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	97.4	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△47.8	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	4.8	9.7	11.0	7.3	2.0	2.8	1.4

* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

* 2014年7月から2019年6月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

* 騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。

* 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

■各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円換算ベース）

（注1）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

（注2）詳細は最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご覧ください。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

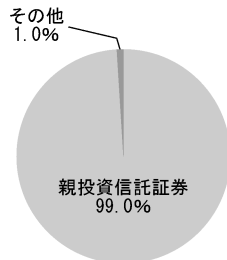
(2019年7月10日現在)

■組入上位ファンド（銘柄数：1銘柄）

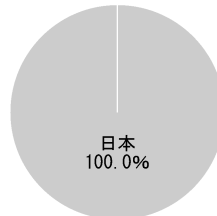
	銘柄	比率 (%)
1	UBS ブラジル・インデックス・マザーファンド	99.0

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

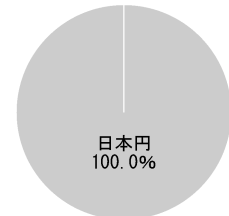
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

純資産等

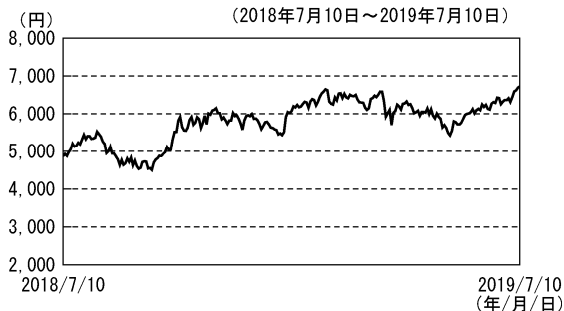
項目	第11期末 2019年7月10日
純資産総額	988,899,648円
受益権総口数	1,730,285,038口
1万口当たり基準価額	5,715円

(注) 当期(第11期)中における追加設定元本額は44,385,943円、同解約元本額は405,603,689円です。

<UBS ブラジル・インデックス・マザーファンド>
(2019年7月10日現在)

組入上位ファンドの概要

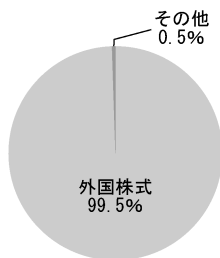
■ 基準価額の推移



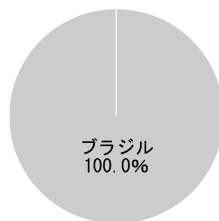
■ 組入上位10銘柄 (銘柄数合計：67銘柄)

銘柄名	業種	国/地域	比率 (%)
ITAU UNIBANCO HOLDING S-PREF	銀行	ブラジル	10.1
VALE SA	素材	ブラジル	9.2
BANCO BRADESCO SA-PREF	銀行	ブラジル	8.8
PETROBRAS - PETROLEO BRAS-PR	エネルギー	ブラジル	6.9
PETROBRAS - PETROLEO BRAS	エネルギー	ブラジル	4.8
B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO	各種金融	ブラジル	4.7
AMBEV SA	食品・飲料・タバコ	ブラジル	4.7
BANCO DO BRASIL S. A.	銀行	ブラジル	4.2
ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	銀行	ブラジル	3.4
JBS SA	食品・飲料・タバコ	ブラジル	2.3

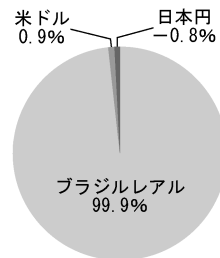
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」はマザーファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国別配分」、「通貨別配分」はマザーファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国別配分」の比率はマザーファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国/地域」および「国別配分」は、発行国または投資国を表示しております。
- (注4) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書(全体版)」をご覧ください。

■1万口当たりの費用明細

項目	当期 2018/7/11～2019/7/10	
	金額	比率
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	1円 (1) (0)	0.020% (0.018) (0.002)
有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.011 (0.011)
その他費用 (保管費用) (その他)	41 (41) (0)	0.708 (0.707) (0.001)
合計	43	0.739

※期中の平均基準価額は5,839円です。

(注1) 「1万口当たりの費用明細」は、マザーファンドの直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、2ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

※当マザーファンドの運用経過につきましては、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

- ・ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
東証株価指数（TOPIX）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社東京証券取引所に帰属します。
- ・ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）
- ・ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
- ・ NOMURA-BPI国債
NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。
- ・ FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）
FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円換算ベース）
JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。